

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	産業雇用安定センター運営費			担当部局庁	職業安定局		作成責任者	
事業開始年度	昭和62年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	労働移動支援室		労働移動支援室長 伊達 浩二	
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定			政策・施策名	IV-2-1 地域、中小企業、産業の特性に応じ、雇用の創出及び雇用の安定を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号 雇用保険法施行規則第115条第4号			関係する計画、 通知等	-			
主要政策・施策	高齢社会対策			主要経費	社会保障			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	産業構造の変化、国際化の進展等に伴う労働力需給に関する変化に対応した労働力の産業間、企業間移動の円滑化等に寄与するため、労働力が過剰になった企業の中老年労働者等を出向・移籍により、失業を経ることなく、労働力が不足している企業に労働移動させるために、人材の送り出し情報や受け入れ情報の収集・提供を行い、そのマッチングを図り、もって勤労者等の失業の予防等雇用の安定確保と産業経済の発展を図るもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	出向等による円滑な労働移動を推進するため、以下の事業を行う公益財団法人産業雇用安定センターに対して補助を行う。 ①出向等による労働力の移動の希望、受入れ可能性等に関する情報の収集及び提供並びにそのマッチングに向けた相談・援助等 ②各業界別の雇用動向及び見通しに関する情報の収集及び提供							
実施方法	補助							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	1,968	2,076	2,818	3,179		
		補正予算	-	14	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計		1,968	2,090	2,818	3,179	0	
	執行額		1,913	1,971	2,818			
執行率 (%)		97%	94%	100%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	24年度49%以上、25年度49%以上、26年度60%以上、27年度60%以上	あっせん成立率 (成立件数/送出件数)	成果実績	%	56.9	65.8	60.1	
			目標値	%以上	49	49	60	60
			達成度	%	116%	134%	100%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	事業所訪問件数	活動実績	件	98,253	110,264	129,509		
		当初見込み	件	80,000	90,000	110,000	120,000	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	X/Y X:補助金総額(千円) Y:あっせん成立件数	単位当たり コスト	千円/件	190.5	209.2	331.7	264.9	
		計算式	X/Y		1,913,350/10,042	1,971,273/9,424	2,818,119/8,495	3,179,055/12,000
平成27・28年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	管理費	637		精査中				
	事業費	2,536						
	広報費	6						
計	3,179	0						

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	日本の産業構造の変化等の進展に伴う労働力需給の変化の進む中、いったん離職すると再就職が困難な中高年労働者等の失業なき労働を実現し、雇用の安定に資する事業であり、雇用のセーフティーネットとして大きな役割を果たしていることから、国費を投入している。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	以下の点から、現状の通り実施すべき事業であり、地方自治体等にゆだねることは適当ではない。 ○本事業に賛同する会員企業等の協力により、相対的に安いコストで高いマッチング率を維持していること ○都道府県域を超えた出向・移籍に対応できるよう全国ネットワークを必要としていること			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	日本の産業構造の変化等の進展に伴う労働力需給の変化の進む中、いったん離職すると再就職が困難な中高年労働者等の失業なき労働を実現し、雇用の安定に資する事業である。また、日本再興戦略においても失業なき労働移動の実現が掲げられており、優先度の高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	設定されている成果実績を達成し相対的に安いコストで高いマッチング率を維持している。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	本事業の目的に即して適切に執行されている。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	-	-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	当初見込みを上回る実績となっている。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	相対的に安いコストで高いマッチング率を維持している。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初見込みを上回る実績となっている。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	平成26年度のあっせん成立率は60.1%であり、目標を達成している。 事業所訪問件数については、昨年度比117.5%増の129,509件となった。				
	改善の方向性	平成27年度は出向・移籍を希望する受け入れ企業のニーズを重視したあっせんを実施するための支援体制の強化を行う。引き続き、事業の目的の効果的な遂行、成果目標の達成となるよう努めていく必要がある。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	703	平成23年度	651	平成24年度	576	
平成25年度	489	平成26年度	492			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
2,818百万円

※ 金額は平成26年度執行額

【補助】

A. (公財) 産業雇用安定センター
2,818百万円

出向等による円滑な労働移動を推進するため、以下の事業を実施。

①出向等による労働力の移動の希望、受入れ可能性等に関する情報の収集及び提供並びにそのマッチングに向けた相談・援助等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・用途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.(公財)産業雇用安定センター			E.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	人件費	情報提供・相談援助事業協力員等	509			
	事業費	地方貸借料、旅費、事務費及び会議費	2,186			
	一般管理費	本部貸借料、謝金、旅費、事務費及び 会議費	118			
	広報費	センター広報費	5			
	計		2,818	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)産業雇用安定センター	出向等による円滑な労働移動を推進するため、以下の事業を実施。 ①出向等による労働力の移動の希望、受入れ可能性等に関する情報の収集及び提供並びにそのマッチングに向けた相談・援助等 ②各業界別の雇用動向及び見通しに関する情報の収集及び提供	2,818	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					